

会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 患者情報共有・ICT 部会	
開催日時	令和7年3月13日(木) 開会：19時00分・閉会：19時45分	
開催場所	産業文化会館管理棟 2A会議室	
出席者(委員)氏名	藤井尚子、上村勇樹、松原克彦、小沼 豊蔵、石島弘美、平賀絵美、江原史江、川島 治	
欠席者(委員)氏名	栗原 肇、江袋文紀、大山恵巳、淵上通子	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会議内容	I. これまでのまとめ II 議題 1. わたしの人生ファイル改訂案について	
会議資料	(資料名・概要等) ・ICT/患者情報共有部会次第 ・わたしの人生ファイル情報シート①改訂案 ・人生ファイルこれからの私改訂案 ・これからの治療・ケに関する話し合い-アドバンス・ケア・プランニング-(人生会議)【参考】 ・医療情報終末期延命等について【参考】	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	主宰者記名	
令和7年3月31日	藤井 尚子	
	上村 勇樹	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
藤井委員 各委員	<p>【開会】 19：00</p> <p>I． 前回のまとめ 次第のとおり</p> <p>II． 議題</p> <p>1． わたしの人生ファイル改訂案について</p> <p>何のための情報共有なのか明確に。コンセプトをしっかりと作り込みたい。専門職の記入の手間が課題。</p> <p>既往歴は時系列で記入できたほうがいいのではないか。 介護情報はそのまま。介護保険証でも代用はできる。 生活状況はスケジュールをもっと少なくてもいいのではないか。 自分のストーリーを入れた方がいいのではないか。 健康情報は代用できるものがあれば、割愛することもできる。 「現在、出来ていること」「わたしの状況」は被っている。「現在、出来ていること」がシンプルでいいのではないか。ケアマネのアセスメントシートで代用しすべて削除することもあり得る。 口腔内は文書より図の方がよい。チェックだけでは意味がなく、歯科につながる内容にする方がよい。 「現在、出来ていること」「わたしの状況」はもっと丁寧に検討していく必要がある。なるべくシンプルにしていく。</p> <p>「口腔」「服薬」は、専門職でないと書けない。薬剤師は別の方法で丁寧に情報を出している。お薬手帳で1包化は確認できる。人生ファイルで把握するのは、ハードルが高い。服薬状況は、削除する。 歯科とのアクセスは課題。MCSに写真をあげるなど他の方法はどうか。</p>

人生ファイルこれからの私改訂案は、できるだけ簡単に分かりやすく書いた。人生会議は誰と、どこで位が十分なのではないか。具合が悪くなったタイミングでないと先にすすまないが、もっと手前でもいいのではないか。

色々な選択肢を残してもよいのではないか。

(これからの治療・ケアに関する話し合い-アドバンス・ケア・プランニングを参照)

「主治医に質問してみましよう」は、聞きやすいのではないか。

「なにが一番大事か」は、ハードルが高いのではないか。

ACP は事前指示ではない。大切な人たちとふわっと話すもので話し合う機会を持つことが大切。

病院内では、半分くらい ACP をしている。意識が高い人である。

認知症カフェでも実施したが、皆、一所懸命かく。「これからの私」は一つのツールとして知ってもらうきっかけになるのではないか。ACP の啓発をするものとしての内容は、これでいいのではないか。

最後に情報として、コラムと入れるものいいと思われる。

イメージしたものを作ってみることとする。

【閉会】 19 : 45